

2月23日

陶一周駅伝に北中クラブと

職員チームが出場！

23日の日曜日に「陶一周駅伝大会」が開催されました。瑞浪北中の陸上クラブだけではなく、職員チームも参加し、大会を大いに盛り上げました。

感謝状

瑞浪北中学校
陶一周駅伝競走大会参加選手の皆様

皆さんは、2月23日に開催しました第56回陶一周駅伝競走大会において後片付け（トイレ掃除など）まで気持ちよく行ってくださいました。お陰様で大会を無事終了することができました。ここに皆さんの協力に対して感謝の意を表します。

令和2年2月25日
瑞浪市体育協会
陶支部長 加藤 輔之

この日の陶地区には小雪が舞いました。風も強く、寒い一日となりました。瑞浪北中陸上クラブは男女ともに健闘し、男子は優勝、女子は3位という結果を残しました。東濃駅伝の結果からすると、女子の3位は納得いかないかもしれませんが、来シーズンに向けてまたコツコツと力を付けて花を咲かせてほしいと思います。

結果も気になるころですが、それ以外に瑞浪北中陸上クラブの選手たちの素晴らしさが目立った大会となりました。

左の写真は、この大会でトイレ掃除を初めとする後片付けに取り組んだ瑞浪北中学校の生徒に対する感謝状です。選手として出場した北中の生徒は、レースだけではなく、支える人たちの手伝いとして大会を盛り上げたことがわかります。

大会やコンクールに参加すると、結果や成績が気になりますが、その前に、それが開催されることをありがたく思う気持ちが大切です。特に、アマチュアスポーツは、収入を得るためにやっているわけではないのですから。

アスリートの真価は、支える人たちの存在に気付けるかどうか、そして、それに応えて動けるかどうかにあると思います。北中の選手たちは、フィジカルもメンタルも素晴らしいアスリートに成長しつつあるようです。

この大会には、職員チームも出場しました。忙しい毎日を送っている職員ですが、大会に向けて心をつなげてタスキをつなぎました。男女混合であること、十分な練習時間が取れなかったことなどから、結果は公表できませんが、職場の輪を大切にして、駅伝に挑戦したことには拍手を送りたいと思います。そんな中で、一区を走った上田教諭がトップでタスキを渡し、区間賞を取りました。上田教諭はアンカーとしても第6区を走り、見事タスキを運びきりました。



力走する上田教諭